

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	7番	(一般内科・神経内科) 鎌田	(一般内科・神経内科) 西山	(一般内科・神経内科) 福徳	(一般内科・神経内科) 石川	(一般内科・呼吸器) 金井
	8番	(一般内科・呼吸器) 白井	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 永福(建)	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 白井
	11番	(一般内科・呼吸器) 藤田	(一般内科・呼吸器) 金井	(一般内科・糖尿病) 池谷	(一般内科・糖尿病) 池谷	(一般内科・消化器) 森
	12番	(一般内科・呼吸器) 伊藤				(一般内科・呼吸器) 三輪
	13番				(循環器) 受付8:30~11:00 佐藤	
初診	金井/岩泉・福徳	藤田/三輪・鎌田	藤田・交代制 福徳/石川	白井/岩泉・西山	池谷・岩泉/伊藤	
小児科	(小児一般) 伊熊	(小児一般) 豊田		(小児一般) 豊田		
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全) 再診のみ			受付12:30~16:00 再診のみ 杉山			
児童精神科 初診・再診とも 「完全予約制」です。	1 (51番)	山村	山村	山村		
	2 (52番)			高貝		
	3 (53番)	内山			内山	内山
	4 (55番)			杉山		
眼科 第1木曜日のみ				受付13:30~16:30 田邊		
皮膚科 毎週水曜日のみ			受付8:30~11:00 池谷			

*泌尿器科は再診患者様のみです。
*児童精神科を初めて受診される方は、事前に電話予約が必要となります。

各種相談担当医一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	第一診療部長 石川邦子 神経内科医長 鎌田 皇 神経内科医長 西山治子
小児心臓外来	毎週月曜日 予約制	・心疾患の相談や検査、治療。 ・学校心臓検診など。	療育指導科長 伊熊正光
小児生活習慣病外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・小児肥満、糖尿病、高血圧の相談や検査、治療。 (最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
小児心身症外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・慢性的な頭痛や腹痛、夜尿症など、慢性疾患や長期間持続する 症状の相談や検査、治療。(最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	療育指導科長 伊熊正光
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・三種混合、麻しん、風しんなどの定期予防接種の実施。	療育指導科長 伊熊正光
医療相談	月～金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 棕本美穂
栄養相談	月～金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 小馬瀬明義、折戸 秀行 栄養士 浪野 正和、三村 直希

*希望される方は、医事係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ④消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ⑤気管支鏡 *検査は受診のうえ、予約が必要です。

皆さん こんにちは。副院長の白井です。先日新聞にのせていただく機会があり、皆さんから声をかけられてうれしく思うとともに、もっと頑張らねばと毎日自転車通っています。ただ年とともに体力の低下を痛感する今日この頃です。今回のかがやきではみゅうの丘を紹介させていただきました。少し離れた地域と一緒にいる3施設で共通の問題を考えていこうということになりました。少しでも患者様の利便性が増すように話し合いを進めていこうと思います。よろしくお祈りします。



国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



かがやき

vol.60
2014.10月発行
http://tenryu-hosp.jp/

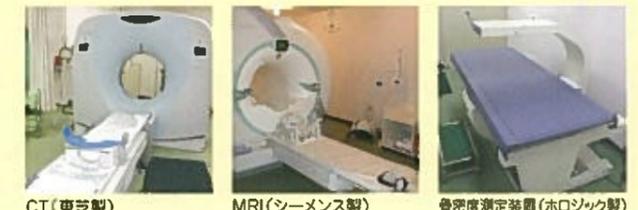
「七つのまちがい探し」



※解答は中面をご覧ください。

医療機器の共同利用を行っています

当院では地域医療機関の先生方の診療に役立てるようCT・MRI・骨密度測定装置の共同利用を行っています。予約制で当日に検査を行うことも可能です。お問い合わせは地域連携室へご連絡下さい。



【ロゴマーク】



【デザインコンセプト】
「医療(天竜病院)」「Medication」「教育(天竜特別支援学校)」「Education」「福祉(天竜厚生会)」「Welfare」の3つのアルファベット(M.E.W)を円に変形させ、親しみやすい形にデザインにし、色を分けることで、見た目にもわかりやすく表現した。3つのアルファベットを丘の上に配置することで、三者の連携のエリアを表現した。

「Miyuu no Oka」プロジェクト
管理課長 新谷 尚弘

天竜区と浜北区の区境にある丘の上でエリアで隣接する「天竜病院」「県立天竜特別支援学校」「社会福祉法人天竜厚生会」の「医療・教育・福祉」の3施設が、平成22年11月に大規模災害時の連携について話し合いを始めました。

そしてあの東日本大震災が平成23年3月11日に起こり、連携の必要性を更に実感し、3者協議を継続してきました。

現在3者で、防災「大規模災害時の協力的体制」、地域発信「三者のネーミング、ロゴマーク等」、環境「エリアの環境整備」、その他「広報・相互利用」など多方面にわたり話し合っています。

エリアのネーミングを「医療・教育・福祉」連携エリア「みゅうの丘」とし、ロゴマークも決まり使用しているところです。

これからはエリアを地域の皆様にも正しく利用してもらうため「みゅうの丘」の活動を続けていければと思います。

接遇標語コンテスト

副看護部長 伊藤 由香利

看護部では、接遇について職員へ意識づけするために接遇標語を毎朝復唱しています。今回、さらに意識向上を図るため『接遇標語コンテスト』を開催しました。

まず、看護部職員が1人1点、標語を考え、各部署から2点ずつ、合計14点の標語が選出されました。次に、看護部職員全員で投票を行い順位をつけました。

そして、上位3位までの標語を作成した職員に表彰を行いました。

職員の作成した標語は、患者さんやご家族の方と関わらせて頂いているときに思いあたる内容でした。コンテスト開催中は、職員同士でどのような標語にするか話題に挙がることもあり、接遇について考える良い機会になりました。

上位7位までの標語を9月～3月にかけて、毎朝順番に復唱していきます。

標語に掲げられた内容を実践できるよう、病院全体で努力していきます。



天竜病院での診察場面をテーマにシリーズでクイズを出題していきます。空欄に入る答えを下の健康キーワードから選んでね！
※解答は欄外下をご覧ください。

高齢者の低栄養

患者：今年で65歳になりました。若いときに比べると食が細くなりました。3年前に夫を亡くして、今は一人で暮らしています。

※この方の体格 身長:145cm 体重:38kg BMI:18.1

管理栄養士：高齢者の栄養状態と健康に関する調査で、独居あるいは高齢夫婦二人暮らしの人は、家族と同居の人に比べて低栄養の割合が2倍高い、という報告もあります。

また、あなたのBMIは18.1で低体重に分類されます。理想体重は46kgになります。

※BMI：体重(kg)÷身長²(m)で求められる。

BMIの判定	18.5未満	低体重(やせ)
	18.5～25未満	普通体重
	25以上	肥満傾向

※身長²(m)×22をしたものが理想体重になります。

患者：体形は痩せている方だと思いますが…今どこ低栄養なんてあるんですか？

管理栄養士：低栄養とは、エネルギーと①が欠乏した状態、健康な体を維持し活動するのに必要な栄養素が足りない状態をいいます。低栄養になると認知機能の低下・病気にかりやすくなる・筋力の低下・②の危険性・気力がなくなるなどいろいろな症状がおきやすくなります。高齢者にとっては、肥満やメタボよりはるかに警戒が必要なのです。

◎こんなことが多くありませんか？

- ✓3食食べない日が週2～3日以上ある
- ✓肉は体に良くないので、もっぱら魚を食べる
- ✓牛乳や乳製品を摂らないことが多い
- ✓主食は食べず、おかずだけで済ませることが多い
- ✓年をとったら、あまり食べなくてもいいと思っている

患者：そういえば、夫がいなくなってから、食事の回数も減って、冷蔵庫の残りのもので済ましてしまうことが多いように思います。それに、健康のためと思って、肉料理とが油を使った料理はなるべく控えているんです。

管理栄養士：体重の減少は低栄養を発見するために重要な指標です。定期的に測る習慣をつけましょう。体重が半年で③kg減ってきたら気をつけましょう。

体の機能を維持するうえでまず必要なのは、エネルギーとたんぱく質です。この2つが足りないと、体力も抵抗力も落ちてしまいます。

ビタミンやミネラル、また、食物繊維などは、体の調子を整える大事な栄養素や成分。これらは、エネルギーとたんぱく質が充分満たされた状態で力を発揮します。

【ポイント】

- ◎3食しっかり食べましょう。(食べられない場合は量を少なくして回数を多く)
 - ◎食事は、穀類(ごはん、パン、めん)たんぱく質源(④)、魚、大豆製品、卵など)野菜類(野菜、芋、海藻など)をセットにする。
 - ◎たんぱく質源は、3食で使う食材をなるべく変えましょう。(朝が卵なら昼は肉にする。)
- 用意が大変な場合は、市販されている1食用の惣菜や、宅配の食事を上手に利用されてもいいと思います。

患者：あんまり食事について考えたことなかったけど気をつけてみます。これからは元気で長生きしなくっちゃね!

健康キーワード 2～3 たんぱく質 肉 骨折

地域で取り組む感染対策

感染対策室 高山 直樹

H24年度から感染対策の分野では、地域連携が求められるようになり、病院間相互で感染対策を評価する“相互チェック”が始まりました。現在、当院は浜松医科大学及び浜松赤十字病院とタッグを組んでいます。写真は昨年度の浜松赤十字病院との相互チェック時の様子で、病室環境のチェックを受けています。

今後も地域との連携を活用し、感染対策の質の向上に取り組んで参ります。



病院間相互チェック時の様子です



指摘事項については院内で検討し、改善に努めます

感染対策室よりお知らせ

今年もインフルエンザに御用心

毎年、国内のインフルエンザの感染者数は約1000万人、死者数は約1万人と推計されています。

感染症予防には全員の協力がが必要です。「うつらない、うつさない」配慮で、皆でインフルエンザの予防に努めましょう。

予防のための5つのポイント

- ①手洗いをこまめにする。
- ②環境を綺麗にする。
- ③咳が出るときはマスクをする。
- ④人ごみをなるべく避ける。
- ⑤抵抗力をつける。

※睡眠や適度な運動、栄養バランス、ストレスの軽減などに加え、ワクチン接種が有効です。

医療安全管理室について

医療安全管理係長 上野 香織

医療の最も基本的な要件の一つに患者様に安全な医療サービスを提供することがあり、医療安全を推進する組織体制の構築及び職員の意識啓発をすすめることが求められています。

医療安全管理室は、上記を目的として設置された部門であり、組織横断的に院内の医療安全管理を担っています。

主な活動としては、インシデント報告や事故事例の分析を行い、結果の周知、再発防止策の検討、職員への教育研修等を行っています。

また、職員一人一人が意識して医療安全に取り組んで行くために、リスク感性が高められるよう働きかけを行っています。

医療の主役は患者様です。患者様との対話を通し、お互いの信頼関係を築くことが、

安全な医療の提供には欠かせません。

わからないこと・不安なこと、何でも職員にお気軽に相談してください。

「安全高める患者の参加 対話が深める互いの理解」



新しい病院で私達と看護をしませんか。

患者さんの目線にたった看護を一緒にしませんか。

お問い合わせ／電話：053-583-3111 看護部：内線5113 庶務係：内線5322